

< 担い手への農地集積等を目標としている事例 >

将来に向けた農作業委託を行い、地域農業の振興を図る

1. 集落協定の概要

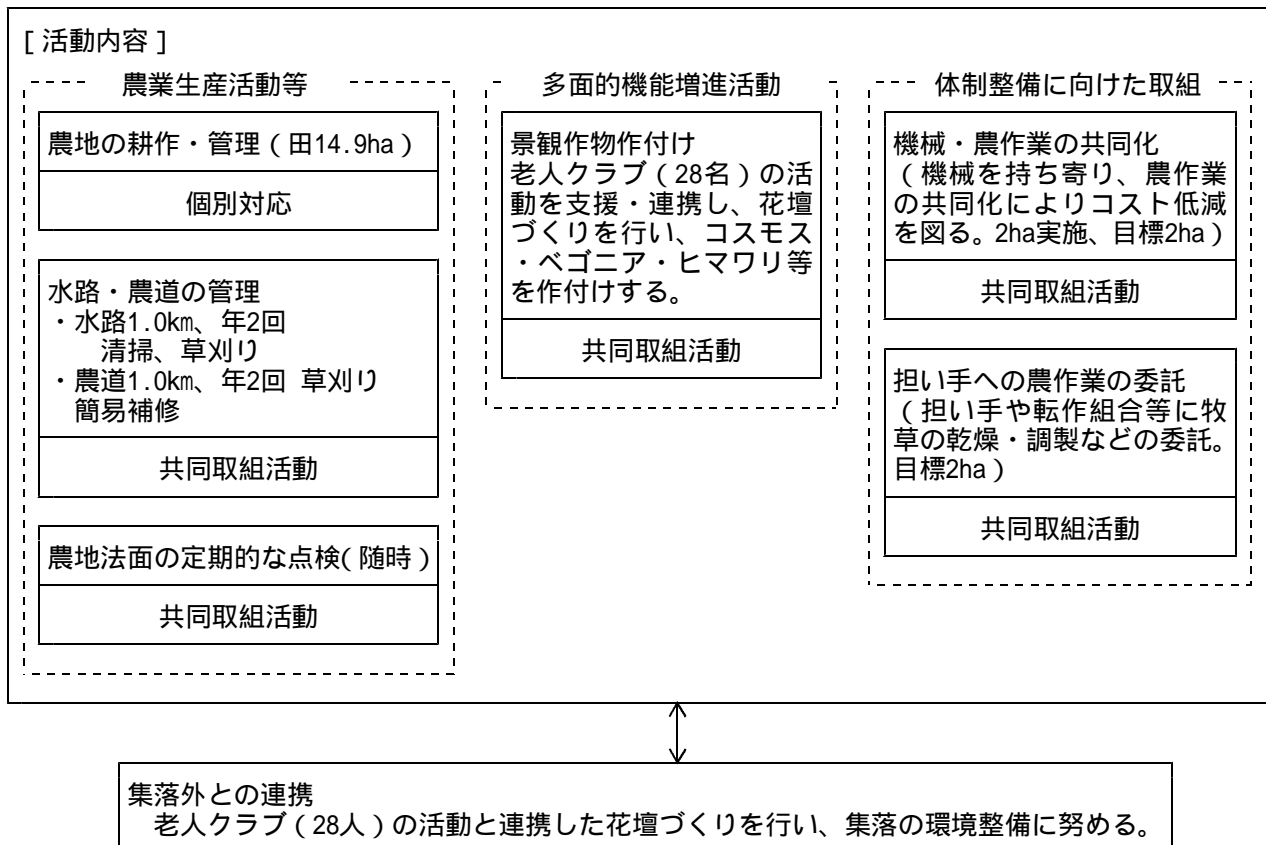
市町村・協定名	青森県 ^{むつしかなやきわ} むつ市金谷沢			
協定面積 14.9ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	牧草			
交付金額 119万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	担当者活動経費		17%
		水路・農道等の維持管理等経費		67%
		体制整備に関する活動経費		7%
農地維持管理及び多面的機能増進活動に関する活動経費		9%		
協定参加者	農業者 21人			

2. 集落マスタープランの概要

当集落は水稻、野菜、畜産を主体とした家族経営を基本とする農業構造である。

従来から転作組合が組織されており組合長がリーダー役として農業施策の遂行や生産の推進役を果たしてきたが、農作業の共同化が容易に進まない状況にある。

このような状況を踏まえて、高齢化・兼業化等の問題に対処しつつ、地域資源を再認識し、地元への理解と愛着を深めるため、集落の総意と農業に取り組む者の創意・自主性に基づき地域農業の振興を推進し、併せて優良農用地の確保、有効利用等の利用集積促進と担い手の育成と確保を図ることで集落全体が合意し、集落マスタープランを作成した。



3. 取組の経緯及び内容

高齢化が進み、兼業化や担い手不足から農地は耕作放棄、遊休化が見られ、農道・水路等の維持管理ができなくなってきたおり、生産活動及び集落機能が低下しているため、将来に向けた地域農業の振興を図っていくこととした。

耕作放棄されそうな農用地については、担い手農家や金谷沢転作組合等に農作業の委託、水路・農道については構成員の協力を得て定期的に清掃及び草刈り、梅雨・台風等の降雨後には見回りを行っている。

担い手農家が、酪農及び肉用牛の繁殖農家であるため、集落内及び近隣農家に堆きゅう肥を供給・施肥して多面的機能の増進を図っていくこととしている。



農用地等保全マップ

水路・農道を対象とした補修・改良位置、景観作物の作付場所、農作業の共同化又は受委託が必要となる範囲等、将来にわたって適正に農用地を保全していくための計画を図面に示した。



水路・農道の草刈り



担い手による牧草の生産

[平成21年度までの取組目標]

耕作放棄地発生防止の取組

耕作放棄地が発生しそうな場合は、集落の担い手で組織している金谷沢転作組合を核として、農地を集積し活用を図る。(18年度まで集積なし)

機械・農作業の共同化

機械を持ち寄り農作業を共同化と熟練した者への作業委託により、効率の向上及びコストの低減を推進する。(現状0ha、目標：2.0ha(協定農用地面積の13%))(18年度2.0ha共同化、委託)

担い手への農作業委託

担い手農家や金谷沢転作組合等への作業委託(当初0ha、目標2.0ha(協定農用地面積の13%))

多面的機能増進活動

老人クラブ(28名)の活動を支援、連携し花壇づくりと季節の花の植栽を推進する。

(現状300㎡、目標500㎡(18年度まで300㎡))